

空き巣にご用心

No. 12

防災・防犯ひとくちメモ

防災安全課
内線272

県内では、平成18年中に空き巣などの侵入犯罪による被害が3,755件(県警調べ)発生しています。中でも、「空き巣」による被害が一番多く1,183件発生しており、総被害額が約3億5千万円となっています。あなたのお住まいをチェックしてみましょう。

塀・垣根

- ・見通しが良いですか
- ・2階への足場になっていませんか

出入口(玄関・勝手口)

- ・二重ロックになっていますか
- ・ピッキング対応になっていますか
- ・センサーライトなどがありますか

窓

- ・補助鍵が付いていますか
- ・割れにくいガラスですか
- ・防犯センサーなどが取り付けられていますか

ベランダ

- ・手すり、腰壁は見通しが良いですか
- ・足場になりそうな物が置いてありませんか

狙われにくい家

- ・防犯カメラ、センサーライトなどが設置してある
- ・飼いがいたり、警備会社のシールが張ってあったりする
- ・外灯や門灯で深夜でも明るくい
- ・通り道や庭などに玉砂利が敷いてあり、歩くと音がする
- ・近所付き合いや、あいさつなどの声掛けが多い地域

空き巣が一番嫌うのは、近所の目や明かり、音、侵入するのに時間がかかる家です



男女共同参画⑫

ぎふっこカード

シリーズ

『男と女』

県が発行している「ぎふっこカード」を「存じますか。これは、18歳未満の子どもがいる世帯にキャンペーンカードを交付し、この事業に参加している企業やお店でカードを見せると、特典や応援が受けられるというもの」です。

平成16年に市が行った調査では、子ども連れの外出時に困ることの1番目は「トイレが対応していない」、2番目は「オムツを替える場所がない」でした。

お店に「オムツ交換ベッドあります」の表示や「子ども用のトイレありますよ」と声を掛けてもらえることで、どれだけホッとすることでしょう。

キャンペーンの特典も魅力ですが、応援内容に記載される、ちょっとした配慮が子育て中の人にはとてもうれしいのです。

企業やお店など子育てにかかわりがなさそうな場所との連携により、子育て中の人が外出しやすくなり、結果的に地域とかわる機会が広がれば、地域の活性化にもなると思います。社会全体で子育て家庭を応援する雰囲気づくりというところでこのキャンペーンは始まりました。

企業やお店の方は、キャンペーンに参加して子育て家庭を応援してみませんか。子育て中の人は、この事業に参加している企業やお店をどんどん活用して、子育てしやすいまちづくりを広げましょう。